

HU AF / 19

法政大学 建築フォーラム 2019

HOSEI UNIVERSITY
ARCHITECTURE FORUM 2019



EToS

江戸東京研究センター
Hosei University Research Center for
Edo-Tokyo Studies

都市という表現

「東京は首都足りうるか——大都市病症候群」
の後に来るもの

www.design.hosei.ac.jp/archi/



開場 18:00 | 開演 18:30 — 20:30

事前申込不要・入場無料

法政大学デザイン工学部 市ヶ谷田町校舎5Fマルチメディアホール
〒162-0843 東京都新宿区市ヶ谷田町2-33

MODERATOR | 司会

栗生はるか

1

HOSEI
UNIVERSITY
ARCHITECTURE
FORUM 2019

THEME | テーマ

東京駅・皇居前広場・皇居 ——天皇制と「帝都」の空間をめぐる

SPEAKER | 登壇者

原武史

政治学者・放送大学教授

INTERLOCUTOR | 対談者

渡辺真理

DATE | 開催日

2019.10.1 | TUE

2

HOSEI
UNIVERSITY
ARCHITECTURE
FORUM 2019

THEME | テーマ

アジア主義を 更新する

SPEAKER | 登壇者

高山明

演出家・アーティスト

INTERLOCUTOR | 対談者

下吹越武人

DATE | 開催日

2019.10.15 | TUE

3

HOSEI
UNIVERSITY
ARCHITECTURE
FORUM 2019

THEME | テーマ

東京をやりなおす ——東京文化資源区からの提言

SPEAKER | 登壇者

吉見俊哉

東京大学教授

INTERLOCUTOR | 対談者

赤松佳珠子

DATE | 開催日

2019.10.29 | TUE

4

HOSEI
UNIVERSITY
ARCHITECTURE
FORUM 2019

THEME | テーマ

近未来の「東京」の表象 ストリート/スクリーン/内部空間

SPEAKER | 登壇者

長谷川祐子

東京藝術大学大学院 国際芸術創造研究科 教授 / 東京都現代美術館 参事

INTERLOCUTOR | 対談者

下吹越武人

DATE | 開催日

2019.11.5 | TUE

5

HOSEI
UNIVERSITY
ARCHITECTURE
FORUM 2019

THEME | テーマ

発明と読み替え ——状況を変える建築的思考

SPEAKER | 登壇者

太田佳代子

CCA c/o Tokyo キュレーター

INTERLOCUTOR | 対談者

北山恒

DATE | 開催日

2019.11.19 | TUE

6

HOSEI
UNIVERSITY
ARCHITECTURE
FORUM 2019

THEME | テーマ

都市における演劇のコモンズ (共有地/共有知)を巡って(仮)

SPEAKER | 登壇者

相馬千秋

アートプロデューサー/芸術公社

INTERLOCUTOR | 対談者

北山恒

DATE | 開催日

2019.11.26 | TUE

7

HOSEI
UNIVERSITY
ARCHITECTURE
FORUM 2019

THEME | テーマ

POST SPRAWL TOKYO——大都市の時代の終わり

SPEAKER | 登壇者

藤村龍至

東京藝術大学美術学部建築科准教授/RFA主宰

INTERLOCUTOR | 対談者

渡辺真理

DATE | 開催日

2019.12.3 | TUE

法政大学デザイン工学部建築学科では、毎年「建築フォーラム」という大学外に開かれた講演会形式の授業を開催しています。今年は、5月19日に法政大学江戸東京研究センターEToS主催で開催した「磯崎新特別講演会」を契機とする7回連続のレクチャーシリーズとなります。

「磯崎新特別講演会」では、「東京は首都足りうるか?」というタイトルで、磯崎新氏、原武史氏、高山明氏、による東京の都市論が語られ、時空を超えた東京都市論が展開されました。

「建築フォーラム」では、様々な表現領域に関わる方々に、「都市という表現」というテーマを手掛かりに都市東京論を語っていただきます。明治維新から150年経ち、近代という社会システムを相対化して俯瞰することを目指します。制度の標示装置としての建築は、戦前と戦後ではその役割が大きく変更されますが、近代という概念を社会に定着させてきました。1960年代に「メタボリズム」という超近代の都市の表現から半世紀がたち、2011年の東日本大震災を経て、日本の社会状況は大きく変容し、脱近代という社会認識が浮上するなかで、近未来の東京という都市の表現を考察していきます。

法政大学デザイン工学部建築学科